

2017 年度は

札幌

東京

名古屋

大阪

福岡

の5都市で研修を開催し、多くの方にご参加いただきました。
研修後のアンケートを一部ご紹介します。

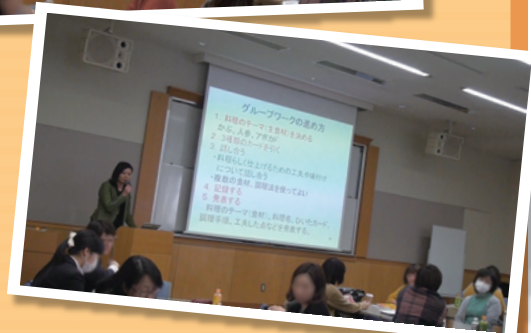
高齢化が進む中で、一次予防がいかに大切かを学んだ。健康な時に自主的に行動を起こす仕組みづくりを確立できると良いと思った。大変学びの多い研修だった。

(市職員)



住民主体で実施してもらうヒントが沢山聞けた。この講座を受けて、住民にしてあげてしまうことに慣れてしまっている自分に気が付いた。今後は気を付けていきたいと思う。

(市職員)



住民主体の活動推進は、今後の自分の課題でもあります。本日の研修でいろいろとアイデアも浮かんできたので、少しずつ実現できればと思います。

(作業療法士)



まず住民に対しての認知症予防や地域づくりの目的・目標の啓発をしっかりとすることが主体性に近づくということが分かりました。認知症予防の自主活動を実施できていないので、これからは是非取り入れていきたいと思います。

(町役場 保健師)



ファイブ・コグを実施していますが、少し分かっていなかったことも解決できました。

(看護師)



ファイブ・コグは名前と簡単な概要くらいしか知らず、今回の研修で内容が分かりました。検査結果後のフォロー体制の受け皿のプログラム(教室)も重要だと感じました。教室の評価事業にも活用できると思いました。

(市職員)

